



Title	巻頭言 : 学会創設五十周年を迎えて
Author(s)	井上, 昌保
Citation	基督教學, 47, 1-3
Issue Date	2012-07-16
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/50531
Type	other
File Information	SC47_001.pdf



[Instructions for use](#)

巻 頭 言

学会創設五十周年を迎えて

北海道基督教学会長 井上昌保

北海道基督教学会が創設以来記念すべき五十周年を迎えました。まずもって、半世紀に亘って先輩会長、理事、幹事、会員諸氏の着実な研鑽努力の賜物として今日あることを衷心より感謝申し上げます。併せて現会員および会友各位と心から慶びをとものにいたしたいと存じます。

さて、本会が結成されたのは一九六二年六月、その三年後に本誌『基督教學』が創刊されました。その創刊号には初代会長の碩学中川秀恭先生の「巻頭言」が掲載されていますが、まさに本会創設の経緯、創立趣旨および今後の充実に對する決意が明快に述べられていますので、ここに本会の存立の精神を確認するために、採録させていただきます。

巻 頭 言

北海道基督教学会長 中川秀恭

日本基督教学会長 石原 謙博士と同学会専務理事 山本 和教授を迎えて、北海道基督教学会が発足したのは昭和三十七年六月十六日であった。

ついで翌三十八年六月の学会総会において、学会が一括して日本基督教学会に加入することが決議され、北海道基督教学会は同時に日本基督教学会北海道支部として活動することとなった。

爾来、わが学会は年次大会における研究発表、或いは道内主要都市における公開講演等の行事を通して、斯学の研究を推進し、またその成果の発表によって地域社会の文化の向上に貢献して今日にいたっている。その間、会員は増加の一途をたどり、現在七十数名に達している。

これはもとより、日本基督教学会長石原博士をはじめ学会理事諸氏の指導と援助の賜物であって、感謝に耐えないところであるが、他面わが学会の理事、幹事、会員諸氏の努力にまつところも頗る大であって、それにたいしてここに深甚の謝意を表する。

このたび、学会誌『基督教學』を発行する運びとなったが、会員諸氏と共にこれをよろこび、学会今後の発展を祈ると共に、会員諸氏の努力を得てこの学会誌の一層の充実を期したい。

昭和四十一年三月

このような決意で船出した本会ですが、二〇〇五年度の総会の決議に基づいて、二〇〇六年度から、創立以来共同体として運営してきました日本基督教学会北海道支部とは組織を分離いたしました。創立当初の本会が「一括して日本基督教学会に加入する」という決議をしましたが、歴史とともに日本基督教学会入会者が減少し、支部を兼ねる要件に欠けるようになりました。にもかかわらず日本基督教学会からは毎年助成金を頂戴していただきましたので、会計等の組織運営に関しては相互に独立した組織として運営することになったのです。この組織変更にもない、日本基督教学会からその後新たに送金されてくる支部助成金は支部が受領することとなり、二〇〇六年度末までの繰越金は、新たに本会に設けられた「資金管理会計」に運営基金として積立てられました。

このような大きな組織変更がありました。二つの組織は学術研究活動を今後も連携して、あるいは共同で行なうものとして確認されており、実際そのように運営されております。初代会長の願いに応えて、本会は今後も研究発表および会誌掲載論文等において充実した内容を誇り、若手新人研究者の登竜門としても貴重な場を提供して参りたいと存じます。幸い大会会場も近年は名寄市立大学、北海道教育大学旭川校など新しい大学が施設を提供くださり、感謝に耐えません。会員については、かつてのように教会の牧師はじめ在野の研究者にも門戸を広げて、活動の幅がさらに広がるように願ってやみません。

二〇二二（平成二十四）年七月